



5月31日（金）に、名向小学校6年生が、総合の授業で、「われは海の子」の歌詞について学習しました。（担当は、大高先生です。）

子どもたちは、ピラミッドチャートを使ったプリントに、自分の考えをメモしながら、授業に取り組んでいました。

2番の歌詞の「生まれて しおに ゆあみして」の「しお」は、「塩」と思う子たちが多かったのですが、辞書を引いた子たちから「潮」ではないか、という意見が出てきて、考えがまとまっていきました。子どもたちの疑問や意見がよく出た授業でした。講師の埼玉県のとえ学園小学校の山中昭岳先生からは、「海のおいとか海の気配なんて言葉は、海のない埼玉の児童からは絶対出てこないですね」という感想をいただきました。

授業終了後、名向小学校の先生方が、講師の先生を交えて、授業についての協議会を持ちました。



5月30日（木）、第1回のみうら学研究会が開かれました。経験2年目の先生方が参加します。

講師は、国立教育政策研究所の五島先生でした。地域教材を利用したフィールドワークと、博物館など地域の施設の利用を勧めていました。

4名の研究員は、海洋教育を中心に、各自でテーマを決めて、1年間研究していきます。



旭小学校の水槽の様子です。

左の写真には、ギンポの仲間や、マツカサウオが泳いでいます。また、地域の漁師さんが、定置網にかかった物を持ってきてくれたきれいなサンゴも見られます。

右上の写真は、ゴンズイ玉。30~40匹くらいの群れで泳いでいます。右下の写真は、分かりにくいですが、爪だけがきれいなピンクのカニ。背中に、海藻を背負っています。カモフラージュのためかもしれません。



お願い 本研究所では、海洋教育写真コンテストを実施するためのクラウドファンディング（インターネット上での募金）を行っています。このコンテストを実施するために、皆さんのご協力が必要です。3000円から参加できます。リターン（お礼の品物）もあります



ご協力いただける方は、本研究所（854-9443）にご連絡くだされば、すぐに対応いたします。クラウドファンディングの内容を知りたい方は、右のQRコード、もしくは次のURL（<https://readyfor.jp/projects/umishakon31>）からアクセスできます。

（文責 事務局長 渋谷）

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所854-9443まで